

令和6年度 中央区立中央小学校・中央区立中央幼稚園 外部評価報告書

評価委員：豊田 一成委員長、鈴木 一弥副委員長、鈴木 孝治委員、  
鈴木 英子委員、片山 英治委員、神崎 忠久委員

報告書作成者：鈴木 一弥 副委員長

評価時期 令和7年2月

## 1 重点目標の評価

### 重点目標1について

保護者からの「人と関わり合い、互いを思いやる心の育成」「特別の教科 道徳」についての回答では、「よくあてはまる」「あてはまる」の肯定的な評価は、ほぼ9割を得ている。また、児童への同様の質問項目「友達と協力したりやさしくしたりしていますか。」については、97%から「よくしている」「している」の肯定的な回答が出ている。さらに、教員からの評価もほぼ100%となっており、目標はおおむね達成されていると言える。今後も、子どもたちの思いやりの心の育成に向けて、活動の工夫をさらに進めてほしい。

### 重点目標2について

重点目標2の設問①については、「学力向上プランに基づく授業」を推進し、分かりやすい授業に努めてきているものの、保護者の評価では、「あまりあてはまらない」と「分からない」が昨年度の10%と、ほぼ同様の回答で11%となるなど否定的な意見も出ている。教員の評価は、全員が肯定的な回答をしている。児童へのアンケート「学習にまじめに取り組む、学力を高めようとしていますか。」については、90%が「よくしている」「している」との回答で、「あまりしていない」「していない」が10%である。以上のことから、学習力向上に向けた取り組みの成果が、保護者に見えづらい現状があると考えられる。下位層の児童へのボトムアップを図るため、さらに授業改善に取り組みながら、学力調査等の結果を保護者に伝える方法も改善し、家庭と連携した学習環境を構築してほしい。

### 重点目標3について

保護者から「児童の体力と健康への意識向上」のアンケート結果では、平均して93%以上の肯定的な回答をいただいている。教員の回答では「十分達成している」「達成している」の回答がほぼ100%だった。児童のアンケート結果では、「休み時間（一輪車や外遊び）や体育の時間などで運動や遊びをしていますか。」の項目に、88%の児童が「よくしている」「している」と回答している。「していない」の否定的な回答をした児童は0名だが、今後は、「あまりしていない」と回答した11%の児童への指導について、工夫を考えていく必要がある。「一輪車」や「なわとび活動」に取り組む上で、さらに児童が主体的に取り組めるよう検討してほしい。

## 2 今後の改善に向けた意見

・学校評価で、保護者から高評価が得られたことは、うれしい。ごく一部から課題も出ているが、アンケートで100%を得ることは難しい。しかし、ご意見を受け止め、学校で

取り組んでいることをさらにアピールしていきたい。今後は、保護者にどのように受け止めてもらうかが課題だと感じた。

- ・保護者からのアンケート(10)「学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている」、児童からは(4)「先生は悩みなどについて話しやすいか」の項目で、どちらも全体と比べるとやや否定的な意見が出ている。学校では、児童も先生も忙しそうであり、スクールカウンセラーや学童の先生など、学校以外でも相談できる場があればよい。

- ・保護者からのアンケート回収率が40.4%と少ない。幼稚園では90%以上と言うが、なぜか。もっとアピールが必要だ。

### 3 その他の意見

- ・学校での良い取り組みが伝わっていないのだと思う。「学校評価報告書」では、過去三年間分のグラフを並べ、長所と短所を比較しながら今後の改善策を考えるようにすればよい。今回の「改善策」を読むと、既に中央小でやっていることが書かれている。教育目標「ハート」「チャレンジ」「ファイト」のそれぞれの良かったところを外部に発信すればよい。中央小らしい取り組みを見せるだけで、周囲の評価が変わるはずだ。今後の学校評価では、設問の前に「学校での取り組み」を紹介すると答えやすいと思う。

\* 3月末に各学校・幼稚園のホームページで公表していきます。